



人と人・人と地域をつなぐ

東金市社会福祉協議会

みやた みずき
社会福祉士 宮田 瑞月 さん



誰かが安心して暮らせる福祉のまちづくり

皆さん「社協」という言葉を聞いたことはありますか？
社協とも呼ばれる社会福祉協議会では、「誰かが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」のため、地域の皆さん、地区社協、民生委員・児童委員、社会福祉施設、ボランティアや市民活動団体、福祉サービスを提供する事業者など、さまざまな団体・組織の理解と協働によって、地域福祉を推進する社会福祉団体です。

市民の方が気づいた地域課題の解決に向けて、地域みんなで話し合い、活動できるように支援する役割を担っています。



地域福祉の最前線で学びの毎日

私はその「社協」で社会福祉士として、地区社協、ボランティア、民生児童委員事務局、高齢者福祉や児童福祉分野の業務に携わっています。

福祉関係について学んだ大学時代、その知識で生まれ育った東金に貢献したいという思いから、地元・東金での就職を決意し、今に至ります。

子どもから高齢の方まで幅広い世代の方々と関わる毎日は、自分にとって学びと刺激の連続です。地域の方との会話から、さまざまな知識などを学ぶこともあります。そうして学んだ知識や経験を今後、まちのために活かしていきたいです。



みんなが安心して暮らせるまちに向けて

特にやりがいを感じる仕事は、福祉教育の学校での実践です。学校では、子どもたちが高齢者の疑似体験、手話やガイドヘルプ体験を通じて身体の変化や障がいへの理解を深めます。体験から生まれる気づきや素直な反応を見た時は特に嬉しいです。またこの福祉教育は、当事者の方、地域の方や施設の方に協力をいただいています。同じ空間で、同じ目的を持って子どもたちと関われること、自分の思いが伝わることにやりがいと充実感を感じます。

皆さんに気軽に頼ってもらえる存在になるために。「社協の人」ではなく「社協の宮田」と覚えてもらえるように。今後も地域の方からの学びを大切に、自身が成長し、人々の健康や安心につながる活動に関わりたいです。

一方でこの地域の、高齢化やつながりの希薄化といった課題を感じるときがあります。社協の職員として地域の方々の声も大切にしながら、人と人、人と地域をつなぐ機会をつくり、地域の方と一緒に安心して暮らせるまちをつくりたいですね。

12月6日(日)はチャレンジドフェスタ！

今回で18回目を迎えるチャレンジドフェスタ。「チャレンジ」とは「障がい者」「挑戦する人」という意味があります。体験ブースや演芸、模擬店販売を通じて障がいのある方や支援団体、地域住民が交流できる場所です。ふれあいセンターで開催します。ぜひ多くの方に参加していただきたいです。



広報とうがねをご覧になるには

広報とうがねは、新聞折込で毎月1日に各世帯へ配布し、市内の公共施設や郵便局、コンビニなどにも配架しています。市ホームページ、LINE、スマホアプリ「マチイロ」でもご覧になれます。希望者(市内)へは郵送も行っていますので、電話や窓口、市ホームページなどでお申し込みください。



市ホームページ
広報とうがね



LINE
公式アカウント



スマホアプリ
マチイロ



読みやすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント(書体)を使用しています。



環境にやさしいインクで印刷しています。